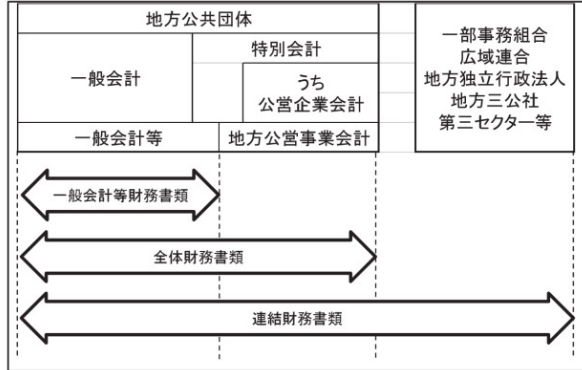


杵築市 統一的な基準による連結財務書類5表（令和5年度決算）

統一的な基準に基づく財務書類は、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間ですべての地方公共団体において作成するように要請されています（平成27年1月23日付総務大臣通知「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」より）。

これを受け、本市では平成28年度決算より統一的な基準による財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）を作成しています。

対象とする会計範囲



統一的な基準では、「連結財務書類」の作成についても求められています。その対象となる会計は、地方公共団体の一般会計のみならず、公営企業会計をはじめとする特別会計、一部事務組合・広域連合、地方三公社、第三セクター等を含めることとなっています。本市における対象会計は、右表のとおりです。

会計区分	会計名称	連結区分
一般会計等	一般会計	一般会計等財務書類
	ケーブルテレビ事業特別会計	
公営企業（法適用）	水道事業会計	全体財務書類
	工業用水道事業会計	
	山香病院事業会計	
	下水道事業会計	
公営企業（法非適用）	農業集落排水事業特別会計	全体財務書類
公営事業（その他）	国民健康保険特別会計	
	介護保険特別会計	
	後期高齢者医療特別会計	
関係する一部事務組合	別杵速見地域広域市町村圏事務組合	連結財務書類
	杵築速見環境浄化組合	
	杵築速見消防組合	
	大分県交通災害共済組合	
	大分県市町村会館組合	
	大分県後期高齢者医療広域連合（一般）	
	大分県後期高齢者医療広域連合（事業）	
第三セクター等	（財）杵築市総合振興センター	連結財務書類
	（社）杵築市地域活性化センター	
	（株）きつとすき	

①貸借対照表

連結

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	141,318,872	固定負債	35,090,124
有形固定資産	135,500,265	地方債	23,870,718
事業用資産	30,047,165	長期未払金	4,522
インフラ資産	102,742,717	退職手当引当金	3,878,017
物品	2,710,382	損失補償等引当金	-
無形固定資産	144,929	その他	7,336,867
投資その他の資産	5,673,677	流動負債	3,596,324
投資及び出資金	127,933	1年以内償還予定地方債	2,524,096
投資損失引当金	-	未払金	468,506
長期延滞債権	122,596	未払費用	-
長期貸付金	9,360	前受金	20
基金	5,382,603	前受収益	-
徴収不能引当金	△ 14,206	賞与等引当金	397,078
流動資産	8,170,523	預り金	147,434
現金預金	3,981,432	その他	59,190
未収金	636,457	負債合計	38,686,448
短期貸付金	-	【純資産の部】	
基金	3,518,610	固定資産等形成分	144,837,482
棚卸資産	56,928	余剰分（不足分）	△ 34,038,035
その他	5,385	他団体出資分	3,500
徴収不能引当金	△ 28,289	純資産合計	110,802,947
繰延資産	-	資産合計	149,489,394
		負債及び純資産合計	149,489,394

※財務書類より主要科目を抜粋しています。また、単位未満を四捨五入しているため、金額が一致しない場合があります。

貸借対照表とは

貸借対照表は、会計年度末に保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。現金の収支に注目するこれまでの決算書では把握することができなかった、財産や負債等これまでの資産形成の結果を知ることができます。

本市の現状

これまでに本市では、149,489,394千円の資産を形成してきています。そのうち、純資産である110,802,947千円はこれまでの世代が負担してきた金額であり、負債である38,686,448千円は将来の世代が負担していくことになります。

純資産比率 74.12%

資産総額に占める純資産の割合です。現世代でどのくらい既に支払ったかを示す指標です。

（純資産比率＝純資産合計110,802,947千円÷資産総額149,489,394千円）

資産：学校や道路等の将来世代に引き継ぐ社会資本や、投資、基金等将来現金化することが可能な財産の総額。

負債：地方債の残高や退職手当引当金などの総額。将来世代が負担する金額。

純資産：公共施設整備の財源として受けた補助金や地方税等の総額。これまでの世代が負担してきた金額。

②行政コスト計算書

連結

(単位：千円)

科 目	金 額
経常費用	36,786,833
業務費用	18,326,567
人件費	6,107,796
物件費等	11,291,340
その他業務費用	927,431
移転費用	18,460,266
補助金等	14,418,580
社会保障給付	4,028,530
その他	13,156
経常収益	4,266,642
使用料及び手数料	3,371,298
その他	895,344
純経常行政コスト	32,520,191
臨時損失	382,548
臨時利益	659
純行政コスト	32,902,080

※財務書類より主要科目を抜粋しています。また単位未満を四捨五入しているため、金額が一致しない場合があります。

行政コスト計算書とは

行政サービスを提供する際に発生する支出のうち、資産の取得（土地や建物の購入等）にかかわらない支出と、行政サービスの対価として得られた収入を計上しています。

本市の現状

経常費用が経常収益を上回っていますが、これは行政コスト計算書の収入には行政サービスの直接的な収入のみを計上しているためです。経常収益から経常費用を引いた純経常行政コストは、32,520,191千円になります。これに臨時損失と臨時利益の差額を加えた純行政コストは、32,902,080千円となり、この不足分は、市税、地方交付税や国・県補助金等の財源で賄っています。

住民一人当たり行政コスト 1,232千円

住民一人当たりどれくらいの行政コストがかかっているのかを表します。

(住民一人当たり行政コスト＝純行政コスト32,902,080千円÷人口26,711人

【令和5年12月末時点の人口】)

人件費：職員給与や議員報酬、退職給付費用（当年度に退職手当引当金として繰入した額）等の総額。

物件費等：備品購入費や消耗品費、委託料、施設の維持補修に係る経費、減価償却費等の総額。

その他の業務費用：支払利息、外郭団体の営業外費用等の総額。

移転費用：住民への補助金、社会保障給付等の総額。

経常収益：使用料や手数料、財産貸付収入、現金利子、雑入等の総額。

臨時損失：災害復旧に要した費用、資産除売却によって発生した損失等の総額。

臨時利益：資産の売却によって得た利益等の総額。

③純資産変動計算書

連結

(単位：千円)

科 目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資分
前年度末純資産残高	113,588,825	149,645,574	△ 36,060,249	3,500
純行政コスト	△ 32,902,080		△ 32,902,080	
財源	29,737,932		29,737,932	
税収等	16,245,391		16,245,391	
国県等補助金	13,492,541		13,492,541	
本年度差額	△ 3,164,148		△ 3,164,148	
固定資産等の変動（内部変動）		△ 5,014,533	5,014,533	
有形固定資産等の増加		1,614,580	△ 1,614,580	
有形固定資産等の減少		△ 6,913,168	6,913,168	
貸付金・基金等の増加		1,522,788	△ 1,522,788	
貸付金・基金等の減少		△ 1,238,734	1,238,734	
資産評価差額	219	219		
無償所管換等	439,877	439,877		
他団体出資等分の増加				
他団体出資等分の減少				
比例連結割合変更に伴う差額	△ 2,140	△ 11,410	9,270	
その他	△ 59,687	△ 222,245	162,558	
本年度純資産変動額	△ 2,785,878	△ 4,808,092	2,022,214	
本年度末純資産残高	110,802,947	144,837,482	△ 34,038,035	3,500

単位未満を四捨五入しているため、金額が一致しない場合があります。

純資産変動計算書とは

貸借対照表の純資産の部について、増加要因と減少要因を計上し、純資産が1年間でどのように変動したのかを示しています。

本市の現状

純資産の増加要因には、行政サービスの対価として支払われる以外の収入（税収や国県からの補助金等）があり、減少要因には、行政コスト計算書で算出される純行政コストや有形固定資産及び貸付金・基金等の減少があります。

財源：市税、地方交付税や分担金・負担金といった税収等の金額と国や県からの補助金の総額。

固定資産等の変動：公共施設等の有形固定資産及び貸付金・基金の増減内訳。

資産評価差額：有価証券等の評価差額。

無償所管換等：無償で譲渡または譲受した固定資産の評価額等の総額。

④資金収支計算書

連結

(単位：千円)

科 目	金 額
【業務活動収支】	
業務支出	29,816,248
業務費用支出	11,355,982
移転費用支出	18,460,266
業務収入	33,147,259
税収等収入	15,448,373
国県等補助金収入	13,171,368
使用料及び手数料収入	3,535,091
その他の収入	992,427
臨時支出	357,974
臨時収入	205,089
業務活動収支	3,178,127
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,682,420
公共施設等整備費支出	1,429,643
基金積立金支出	1,221,338
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	31,440
その他の支出	0
投資活動収入	1,776,576
国県等補助金収入	185,895
基金取崩収入	1,084,148
貸付金元金回収収入	30,000
資産売却収入	-
その他の収入	476,533
投資活動収支	△ 905,844
【財務活動収支】	
財務活動支出	3,442,343
地方債償還支出	3,434,543
その他の支出	7,800
財務活動収入	1,342,437
地方債発行収入	1,342,437
その他の収入	-
財務活動収支	△ 2,099,906
本年度資金収支額	172,378
前年度末資金残高	3,719,662
比例連結割合変更に伴う差額	△ 2,763
本年度末資金残高	3,889,277

前年度末歳計外現金残高	87,522
本年度歳計外現金増減額	4,633
本年度末歳計外現金残高	92,155
本年度末現金預金残高	3,981,432

※財務書類より主要科目を抜粋しています。また、単位未満を四捨五入しているため、金額が一致しない場合があります。

資金収支計算書とは

貸借対照表の現金が1年間でどのように変化したのかを表しています。現金の使いみちによって、「業務活動収支」「投資活動収支」「財務活動収支」の3区分に分け、どのような行政活動にいくら使ったのかを示しています。

本市の現状

資金収支計算書から算出したプライマリーバランスの額は、2,553,418千円となっています。今後の財政運営において、収入の見積りとそれに見合う収支のバランスを考慮していく必要があります。

基礎的財政収支（プライマリーバランス） 2,553,418千円

自治体の基礎的な財政力を示します。具体的には、基本的な地方税や使用料などの収入及び建設事業に充てられる国や県の支出金の合計（業務活動収支の算定から支払利息支出を除いた金額）と、行政サービスを提供するために必要な費用及び公共施設等を整備するために係る費用（投資活動収支）を差し引きした金額のことです。

（基礎的財政収支＝業務活動収支3,178,127千円＋支払利息支出143,945千円＋投資活動収支△905,844千円＋基金積立金支出1,221,338千円－基金取崩収入1,084,148千円）

業務活動収支：行政サービスを行う中で、毎年継続的に収入・支出される金額。

投資活動収支：学校、道路等の公共施設や投資、貸付金などの収入・支出等の金額。

財務活動収支：地方債等の借入・償還等の金額。

財務書類の分析

住民一人当たり資産額 5,597千円

住民一人当たりの資産額を示します。
（住民一人当たり資産額＝貸借対照表 資産総額149,489,394千円÷人口26,711人【令和5年12月末時点の人口】）

住民一人当たり負債額 1,448千円

住民一人当たりの負債額を示します。
（住民一人当たり負債額＝貸借対照表 負債総額38,686,448千円÷人口26,711人【令和5年12月末時点の人口】）

有形固定資産減価償却率 65.66%

償却資産（建物、工作物等）の取得価額に対する減価償却累計額の割合を求めることで、償却の進捗具合を表します。有形固定資産減価償却率が高いほど建て替えや改修などのコストがかかる時期が近いことを示します。

（有形固定資産減価償却率＝減価償却累計額 232,450,251千円÷貸借対照表 償却資産 354,018,762千円）

連結貸借対照表

(令和06年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	141,318,872	固定負債	35,090,124
有形固定資産	135,500,265	地方債等	23,870,718
事業用資産	30,047,165	長期未払金	4,522
土地	9,944,607	退職手当引当金	3,878,017
立木竹	1,516,827	損失補償等引当金	-
建物	36,411,408	その他	7,336,867
建物減価償却累計額	△ 20,500,912	流動負債	3,596,324
工作物	4,934,865	1年内償還予定地方債等	2,524,096
工作物減価償却累計額	△ 2,471,395	未払金	468,506
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	20
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	397,078
航空機	-	預り金	147,434
航空機減価償却累計額	-	その他	59,190
その他	73,398	負債合計	38,686,448
その他減価償却累計額	△ 14,433		
建設仮勘定	152,801	【純資産の部】	
インフラ資産	102,742,717	固定資産等形成分	144,837,482
土地	1,720,792	余剰分(不足分)	△ 34,038,035
建物	2,628,182	他団体出資等分	3,500
建物減価償却累計額	△ 966,543		
工作物	303,066,358		
工作物減価償却累計額	△ 204,243,834		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	537,762		
物品	6,977,949		
物品減価償却累計額	△ 4,267,567		
無形固定資産	144,929		
ソフトウェア	109,603		
その他	35,326		
投資その他の資産	5,673,677		
投資及び出資金	127,933		
有価証券	1,957		
出資金	125,976		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	122,596		
長期貸付金	9,360		
基金	5,382,603		
減債基金	-		
その他	5,382,603		
その他	45,391		
徴収不能引当金	△ 14,206		
流動資産	8,170,523		
現金預金	3,981,432		
未収金	636,457		
短期貸付金	-		
基金	3,518,610		
財政調整基金	3,201,585		
減債基金	317,025		
棚卸資産	56,928		
その他	5,385		
徴収不能引当金	△ 28,289		
繰延資産	-		
資産合計	149,489,394	純資産合計	110,802,947
		負債及び純資産合計	149,489,394

※単位未満を四捨五入しているため、金額が一致しない場合があります。

連結行政コスト計算書

自 令和05年4月1日
至 令和06年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
経常費用	36,786,833
業務費用	18,326,567
人件費	6,107,796
職員給与費	4,431,201
賞与等引当金繰入額	387,934
退職手当引当金繰入額	267,688
その他	1,020,972
物件費等	11,291,340
物件費	4,260,436
維持補修費	295,396
減価償却費	6,716,164
その他	19,344
その他の業務費用	927,431
支払利息	143,945
徴収不能引当金繰入額	73,707
その他	709,780
移転費用	18,460,266
補助金等	14,418,580
社会保障給付	4,028,530
その他	13,156
経常収益	4,266,642
使用料及び手数料	3,371,298
その他	895,344
純経常行政コスト	32,520,191
臨時損失	382,548
災害復旧事業費	321,832
資産除売却損	30,529
投資損失引当金繰入額	—
損失補償等引当金繰入額	—
その他	30,187
臨時利益	659
資産売却益	193
その他	467
純行政コスト	32,902,080

※単位未満を四捨五入しているため、金額が一致しない場合があります。

連結純資産変動計算書

自 令和05年4月1日
至 令和06年3月31日

(単位:千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	113,588,825	149,645,574	△ 36,060,249	3,500
純行政コスト(△)	△ 32,902,080		△ 32,902,080	
財源	29,737,932		29,737,932	-
税金等	16,245,391		16,245,391	
国県等補助金	13,492,541		13,492,541	
本年度差額	△ 3,164,148		△ 3,164,148	-
固定資産等の変動(内部変動)		△ 5,014,533	5,014,533	
有形固定資産等の増加		1,614,580	△ 1,614,580	
有形固定資産等の減少		△ 6,913,168	6,913,168	
貸付金・基金等の増加		1,522,788	△ 1,522,788	
貸付金・基金等の減少		△ 1,238,734	1,238,734	
資産評価差額	219	219		
無償所管換等	439,877	439,877		
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
比例連結割合変更に伴う差額	△ 2,140	△ 11,410	9,270	-
その他	△ 59,687	△ 222,245	162,558	
本年度純資産変動額	△ 2,785,878	△ 4,808,092	2,022,214	-
本年度末純資産残高	110,802,947	144,837,482	△ 34,038,035	3,500

※単位未満を四捨五入しているため、金額が一致しない場合があります。

連結資金収支計算書

自 令和05年4月1日

至 令和06年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	29,816,248
業務費用支出	11,355,982
人件費支出	5,958,156
物件費等支出	4,567,294
支払利息支出	143,945
その他の支出	686,587
移転費用支出	18,460,266
補助金等支出	14,418,580
社会保障給付支出	4,028,530
その他の支出	13,156
業務収入	33,147,259
税収等収入	15,448,373
国県等補助金収入	13,171,368
使用料及び手数料収入	3,535,091
その他の収入	992,427
臨時支出	357,974
災害復旧事業費支出	321,832
その他の支出	36,142
臨時収入	205,089
業務活動収支	3,178,127
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,682,420
公共施設等整備費支出	1,429,643
基金積立金支出	1,221,338
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	31,440
その他の支出	0
投資活動収入	1,776,576
国県等補助金収入	185,895
基金取崩収入	1,084,148
貸付金元金回収収入	30,000
資産売却収入	-
その他の収入	476,533
投資活動収支	△ 905,844
【財務活動収支】	
財務活動支出	3,442,343
地方債等償還支出	3,434,543
その他の支出	7,800
財務活動収入	1,342,437
地方債等発行収入	1,342,437
その他の収入	-
財務活動収支	△ 2,099,906
本年度資金収支額	172,378
前年度末資金残高	3,719,662
比例連結割合変更に伴う差額	△ 2,763
本年度末資金残高	3,889,277
前年度末歳計外現金残高	87,522
本年度歳計外現金増減額	4,633
本年度末歳計外現金残高	92,155
本年度末現金預金残高	3,981,432

※単位未満を四捨五入しているため、金額が一致しない場合があります。